

県立大学と地域をつなぐ、“着物喫茶” 企画

・ 構成員

- 代表者 : 小川大貴 (文化創造 学科 1 年)
会計 : 吉田恵 (文化創造 学科 1 年)
指導教員 : 齊藤理 (文化創造 学科)
メンバー : 森千恵 (文化創造 学科 1 年) 松井美都 (文化創造 学科 1 年)
中林洋介 (文化創造 学科 1 年)

・ プロジェクトの目的

わたしたち着物喫茶は、地域の方々と学生が触れ合える場所を提供し、その交流を通して地域の活性化へとつなげることを目標に、活動を行っています。“着物喫茶”としたのは、着物を着てカフェを訪れてもらう形にすれば、女性や高齢者の方などの地域の方にも興味を持っていただけるでしょうし、思い出のある着物を着て来ていただくことによって、会話も弾むのではないかと考えたからです。

・ 活動内容

1. 東日本復興チャリティーイベントへの参加

2011年7月23日(土)、山口県立大学で行われた「東日本復興チャリティーイベント in 県大」へ参加しました。着物喫茶からは、募金活動や来て頂いた方々にお茶を配るなどして、チャリティーイベントに参加させて頂きました。ここでは、接客の態度を学ぶことができ、また地域の方々に私たちの活動を知ってもらうきっかけとなりました。



2. 地域との連携

8月の末、地域交流センターの皆様にご協力いただき、“宮野の宰相、寺内正毅徒歩ツアー”グループとの連携でチラシの作成を行い、また回覧板として宮野地域の方々へ配っていただきました。そして、9月には地域交流センターの方々や、地域交流ステーションの方と綿密な打ち合わせを重ね、会場の手配や物品の借用等、準備を進めました。



3. 第一回「着物喫茶」開催

- 実施日 : 2011年10月29日(土) 10時~16時
参加者数 : 午前40名・午後30名 計70名
学生スタッフ数 : 7名
イベント : 齊藤輝ライブ、奄美連合萩組よさこい
パブリシティ : 中国新聞 10月27日(木)
毎日新聞 10月30日(日)
YAB山口朝日放送 10月29日(土) 夕方0A
C-able 山口ケーブルテレビジョン
10月31日(月)~11月4日(金) 0A



C-able 山口ケーブルテレビジョン
「地元ユース」 週刊C-スタジオ

10月29日（土）、第一回着物喫茶を地域交流ステーション宮野で開催いたしました。予定人数の60名を超える70数名の方が来てくださり、中には着物を着て来てくださった方もいました。当日は天候の関係で、外面の装飾が寂しくなりましたが、イベントのゲストとして来てくださった、本学学生でシンガーソングライターの齊藤輝君や、奄美連合萩組の方たちによるよさこいの演舞で、会場は大変盛り上がりました。また、YAB 山口朝日放送や C-able 山口ケーブルビジョンなど、多くのメディアの方々が取材に来てくださいました。



4. 着物の着方と所作のお稽古

第一回目を終えた後の反省点として、着物の着こなしがなっていなかったことから、花柳流師範 花柳寿寛先生、花柳桂枝広先生を講師にお迎えし、着物の着方や着こなし、作法等ご指導頂きました。



5. 第二回「着物喫茶」開催

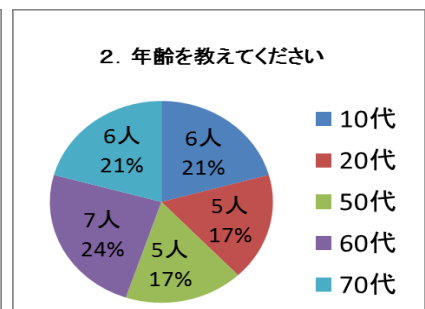
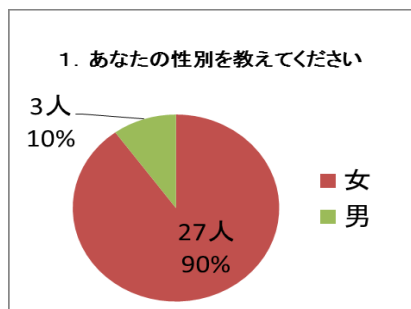
実施日：2011年11月19日（土）10時～16時
 参加者数：午前30名・午後40名 計70名
 学生スタッフ数：8名
 イベント：齊藤輝ライブ、SL「やまぐち」号説明
 パブリシティ：山口新聞 11月17日（木）

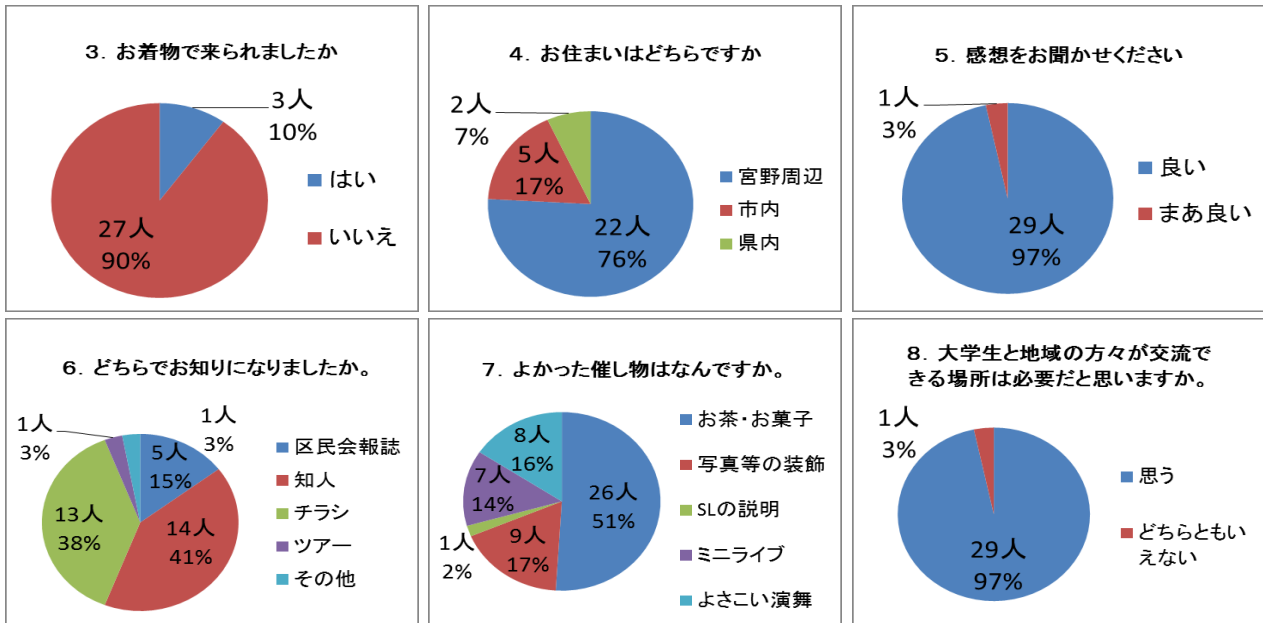


11月19日、同会場にて第二回着物喫茶を開催いたしました。第二回目では、第一回目と同様に多くの方々に来て頂きました。また、第一回目の着物の着こなしや作法などの反省点は、花柳流の先生方によるご指導のおかげで、数多くの改善がみられました。第二回目のイベントでは、第一回目と同様に、齊藤輝君による室内ライブが行われました。また、当日宮野駅を通過したSL「やまぐち号」を、メンバーの中林君によって説明させて頂きました。齊藤輝君のライブでは、ご来場の方々にも一緒に歌って頂き、この企画のコンセプトである「地域の方々と学生が直接ふれあえる場所」を提供することができたと思います。



6. アンケート集計結果





・成果及び感想

当初の狙い通り、多くの宮野地域の方々にお越しいただいた企画となりました。アンケートから、多くの方々が地域と県立大学との交流を求められていることがわかりました。着物姿でいることで昔の思い出をお話ししてもらい、交流をしようという趣旨でしたが、若いお客様には着物姿が新鮮に映り、日本の伝統文化を広げる機会にもなったようです。チラシをきっかけに来られたお客様とほぼ同数のお客さまが知人からと回答されており、宮野地域のつながりの強さを感じました。今後こういったつながりの中に私たちも入っていきたいと思います。

今回一年生がイベントを作るということもあり、不安に思うこともありましたが、一からイベントを作る過程や苦労、喜びを知り、大変勉強になりました。この経験をまた別の機会にも生かしていきたいです。

また、この度はたくさんの方々のご協力により、着物喫茶を成功することができました。

ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。

・指導教員のコメント

普段見慣れた宮野駅を魅力的にしてくれた企画です。「着物喫茶」と聞いて、「いったい何が始まるんだろう」と半信半疑だった地域の方も、実際に色鮮やかな着物を目にし、一気に着物カフェのファンになってしまったようです。年配層のみならず、本学志望の高校生の参加者も見受けられ、本学の学生活動をPRすることにも大いに貢献したのでは、と感じました。今後も地域との協働を深めながら、一層よい企画をめざしてほしいと思います。

・収支報告

配分額	70,000 円	
支出内訳	食品代	23,424 円
	会場装飾費	11,580 円
	イベント宣伝費	10,515 円
		円
支出合計	45,519 円	
残金	24,481 円	